



# 希望

新宿区立四谷小学校

学校だより

## 読書の秋

校長 持田 裕代

5年生の国語の教科書に、「豊かな言葉の使い手になるためには」という学習があります。

豊かな言葉の使い手とは、「多くの言葉を知っている、正確に伝えられる、相手を説得できる、敬語が使える」ことのほかに、「言われてうれしい言葉が言える、言葉で人を感動させる」ことができる人と書いてあります。反対に、豊かではないと思われるのは、「言葉で人を傷つける、流行語や片仮名の言葉を使い過ぎる、仲間内だけの言葉ばかりを使う」ことであるということを知った子供たちは学習しました。

小学校の高学年で、将来社会に出たときにも生きて働く大切な学習をしているということが分かります。習得した知識・技能は活用することができて初めて身に付いたといえます。私たち教職員は、日常生活の中で子供たちが上手に言葉を活用できるように、学校生活の様々な機会を捉えて、意識的に指導していきます。

また本校では、読書活動に力を入れており、年間2回、6月と10月に読書旬間を設けています。授業の前に行う15分の『朝読書』の通年実施とともに、図書ボランティアの皆様方にご協力いただいて、期間中、朝の『読み聞かせ』や『ブックトーク』を行ってきました。図書室の記録ノートには、これまで各学年の子供たちに読み聞かせをした本の名前や感想が書かれていて、次に同じ学年を担当したときの参考になります。卒業生の保護者の方もボランティア登録をして、一緒に読み聞かせをしてくださっています。

灯火親しむ候、ご家庭でもテレビやゲームを消して、お子さんと一緒に本の世界を楽しむひと時をつくられることをお勧めします。子供たちが読書を楽しむことで『豊かな言葉の使い手』として成長していくとともに、将来への夢や希望をふくらませて、よりよい生活を築く人になってほしいと願っています。

## 誰もが主役の学芸会

学芸会担当

11月14日(金)・15日(土)に、四谷小学校では3回目となる学芸会が行われます。校舎のいろいろな場所から、元気なせりふや楽しそうな歌が聞こえてくるようになりました。学芸会に向けて、どの学年でも練習をがんばっています。

学芸会では国語の授業での音読活動、体育の授業での表現運動、音楽の授業での歌唱活動など、日ごろの学習の成果を発表します。「大きな声でせりふを言う」「登場人物の気持ちに合った動作をつける」「心を合わせて練習に取り組む」「道具の作成・舞台の転換も自分たちで行う」など、学年の発達に合わせて目標をもち、成功に向けて取り組んでいます。高学年には、自分の学年の演目だけでなく、進行や照明などの係に携わり、縁の下での力持ちとして会を支える子供もいます。

練習の中でも、協力することの大切さ、最後までがんばることの尊さを味わえるように、全教職員で支援していきます。演技で、歌で、係の仕事の中で、四谷小の子供一人一人が、主役として輝く学芸会にしたいと思います。

- |    |              |
|----|--------------|
| 1年 | 「えんそくにいくんだ」  |
| 2年 | 「スイミー」       |
| 3年 | 「はだかの王様」     |
| 4年 | 「ほんとうの宝ものは」  |
| 5年 | 「人間になりたがった猫」 |
| 6年 | 「エルコスの祈り」    |

14日は児童鑑賞日、15日は一般鑑賞日となっています。お忙しい中とは存じますが、子供たちが力を尽くして表現する姿を、ぜひご覧ください。

## だれにでも こえをかけあい たすけあい

2年2組 担任

この言葉は2年2組の合言葉です。学級目標にも「やさしいクラス」という言葉が入っている通り、自分のやるべきことをしっかりとやった上で、友達のため、学級のために働く姿が多く見られるクラスです。

例えば、早く登校した子がみんなのプリントを配ったり、当番の子が欠席していたらみんなで助け合ったりすることができています。また、掃除の際に配膳台を動かしたり、えんぴつ削りのゴミをきれいに片づけたりと、挙げていけばきりがないほどもです。このようなことを自然にできる子供たちの姿に毎日感心しています。

4月当初に比べて、子供たちは学習面・生活面ともに大きく成長しました。少し前まで1年生だった子供たちは、半年後いよいよ中学年になります。今後子供たちが楽しく充実した学校生活を送ることができるように、日々の指導を続けていきます。



## 日光移動教室感想

6年 児童

- ・特に心に残ったことは、ふくべ細工で、栃木県の伝統工芸にふれることができたことです。
- ・日光東照宮は、混んでいたが、班で協力して見学することができました。学習したものを実際に見ることができました。
- ・念願の日光は台風の影響で一泊二日になってしまっただが、友達と協力して過ごし、楽しい思い出をつくることができました。
- ・ぼくは、一人だけでなく団体に活動しているということ学びました。
- ・特に成長したことは、「判断する力」です。日光では、先生の話聞き、「ここでどうするか」などを自分で考えて行動できました。
- ・友達が困っていたら助ける。友達が大変そうにしていたらもちろん助ける。これからの生活で生かしていきたいです。

## 算数少人数指導（3年～6年）

算数少人数担当

後期に入り、下巻の新しい教科書を使っての授業が始まりました。気持ちを新たに、進んで学習に取り組む姿が見られ、嬉しく感じています。

四谷小の算数授業は、習熟度別の効果的な学習活動ができるように、児童の学習状況に応じて3グループ（5・6年生は4グループ）に編成し、少人数による学習指導を行っています。

問題を機械的に解くだけではなく、なぜその解き方になるのかを考える過程を経て、算数的な思考力が深まります。そのためには基礎・基本をしっかりと身に付けることが必要です。

今年度も後半に入り、学習への取り組み方に大きな成長が見られるようになりました。これからも確かな学力の定着を目指して、子供たちが意欲的に算数学習に取り組めるように、担任の先生と力を合わせて授業を進めていきます。

